

—No.6テーブル情報集会—



11月2日(木)18時よりNo.6テーブルの情報集会在中村修会員のお店である『口八町 北新地店』において行われました。寺杣幹事にご出席いただき、No.3・4テーブル情報集会上席されておられました郡副会長も途中からご参加いただきテーブルメンバー7名あわせて総勢9名(森本・今井・箕村・平尾・宮里・吉村・木川)での情報集会となりました。入会年次の浅いメンバーならではの素朴な疑問を郡副会長・寺杣幹事にお聞きすると共に自由な意見・情報交換をする事ができました。

そして、お店のご厚意で時間を延長して頂いた事により、自由解散の様な形になってしまい閉会後の集合写真撮影時に一部の会員が帰ってしまうという、入会年次の浅い会員のテーブルならではのハプニングでお開きとなりました。ご参加頂きました皆様、ありがとうございます。中村会員、お店ありがとうございました。

26ドル50セントから始まった

1917年、当時、ロータリークラブ連合会(後の国際ロータリー)会長だったアーチ・クランプは、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された年次大会で、「ロータリーが基金をつくり、世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案しました。

彼の提案は、同大会で採択されました。ロータリー基金(ロータリー財団の前身)への最初の寄付は、1917年、ミズーリ州カンザスシティロータリークラブから寄付された26ドル50セントでした。今日、世界のロータリアンから多額の寄付を集めるこの財団が、順調にスタートしたわけではなく、6年が経って、基金の残高はやっと700ドルに達したにすぎませんでした。

その後、基金総額が5,000ドルに達した1928年のミネアポリス国際大会で、この基金による事業開始の時が来たとして、基金の名称をロータリー財団と改め、元RI会長からなる管理委員会が運営する国際ロータリーから独立した組織となりました。

1947年1月27日、ロータリーの創始者ポール・ハリスが亡くなると、「ポール・ハリス記念基金」に多くの人々から寄付が寄せられ、翌年には海外で高等教育を受ける18件の奨学金が授与されました。これが国際親善奨学金の前身です。

引用文献 ロータリー関連資料 やさしいロータリー財団の話

『ロータリーの友』から2012年9月号

(ロータリージャパン・ウェブサイトより転載)

健康ミニ情報

口は禍の元(8020)
生き物は存在するために、生命を維持する行為があります。その始まりは「口」にあります。そして、生きていく限り、その口から餌を摂らなければ生命を維持することは出来ません。また、口は音声を左右し、相互のコミュニケーションの手段として、生きるための、大きな働きを担っています。
次に、口の中には、摂り入れた餌を栄養分にする道具(歯)が備えられていて、一番大切な道具(歯)として、平成元年より80歳で20本の自分の歯を保つ運動がされています。そして、私たちの健康の生活習慣病に挙げられています。歯に、そして歯茎に、異常を感じたら、すぐに歯科治療を受けるようにしましょう。人間相互のコミュニケーション上の「口の禍」そして、健康管理上の「口の禍」口ほど健康に大切なものはありません。

♪大阪天満橋ローターアクトクラブ♪

11月第2例会のお知らせ

日時:11月15日(水)19:30~20:45
内容:「韓国の受験戦争と整形」
場所:大阪キャッスルホテル 3F 錦城閣
登録料: 3,000円
登録先: 幹事 森下莉恵

Rotary OSAKA-TEMMABASHI



ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日12時30分 ヒルトン大阪 4F

会長 橋本守之 幹事 寺杣晃一 広報委員長 宮里修一

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



2017-2018年度国際ロータリーテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

NOVEMBER 9 2017 NO. 2405

ロータリー財団月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2405回)
- 2) ソング それでこそロータリー
- 3) 卓話 「緒方洪庵の主な足跡」
一般財団法人 緒方洪庵記念財団
専務理事・事務長 川上 潤様
健康委員会
重里 國麿会員紹介

次週(11月16日)のお知らせ

- 1) 例会 (2406回)
- 2) ソング 日も風も星も
- 3) 卓話 ロータリー財団月間記念卓話
「ロータリー財団は奉仕の要
~知れば納得、年次寄付~」
地区ロータリー財団委員会
委員 暁 琢也 様
ロータリー財団委員会

☆☆ 11月度のお誕生日 ☆☆

- 14日 勝見 茂 17日 川原 和彦
 - 19日 田邊 三郎 20日 深田 博司
- (以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

本日の例会は、大阪天満宮に於いて移動例会として開催致します。例会に先立って、当クラブ創立50周年記念事業の一環として、天満宮に国旗掲揚台奉納を行う奉納式を執り行いました。後程、創立50周年特別功労表彰会員2名、在籍30年以上会員11名の永年功労表彰の表彰式を行います。会食終了後、天満宮学芸員高島幸次様より記念講話をして頂きます。10月26日の例会終了後には、11月度定例理事会が開催され、移動例会及び国旗掲揚台奉納式の進行等々についての再確認を行いました。その後午後6時からは、大阪キャッスルホテル3階「錦城閣」に於いて、吉村圭太会員と山本邦人会員両名の新入会員歓迎会が開催され、推薦者である福原哲晃会員・山本喬一会員・在本 茂 会員・南川和茂会員、を含め多くの会員と、事務局の大保・足立さん両名も参加して頂きました。出席者

の先輩会員それぞれより、歓迎と励ましのスピーチをもらい、新入会員の両名も感激しておりました。今後、吉村・山本両会員が、ロータリアンとしての誇りや様々な経験を積み重ね、当クラブの将来のリーダーとしての役割を担う有望な会員に成長してくれることを心から祈念致します。

10月27日(金)は、当クラブの創立50周年のPRと挨拶の為、私(会長)と寺杣(幹事)の2名で、親クラブである大阪ロータリークラブへ行って参りました。大阪ロータリークラブの早嶋会長・井戸幹事の丁寧なる出迎えを受け、3分間のスピーチの時間を頂き、当クラブの創立50周年記念式典等のPRと挨拶をさせて頂きました。立野パストガバナーにも、祝宴の乾杯の音頭をお願いを改めて確認させて頂きました。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の国旗掲揚記念例会を祝して、記念講話をしていただく高島先生ありがとうございます。
橋本 守之
天満宮国旗掲揚台奉納を祝して。本日は晴天なり
寺杣 晃一
天満宮国旗掲揚台を祝して
高田 肇

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	58名	11月2日の出席率	85.72%
国内ゲスト	1名	会員出席	46名(55名)	4週間前(10月12日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	19名	メイクアップを含む出席率	83.64%
外国ゲスト	0名	会員欠席	9名	メイクアップ実施会員	6名(欠席者14名)

天満宮国旗掲揚台奉納を祝し。 福原 哲晃
高島先生記念講話ありがとうございます。国旗
掲揚台の奉納記念例会を祝して 在本 茂
天満宮国旗掲揚台奉納を祝して 石田 道夫
創立50周年天満宮国旗掲揚台奉納を祝して

中村 健輔
天満宮国旗掲揚台奉納を祝して 山本 喬一
大阪天満宮国旗掲揚台奉納・特別功労及び永年
功労表彰を祝して 高良 尚志
天満宮国旗掲揚台奉納を祝して 末澤 正大
天満宮国旗掲揚台奉納を祝して 今井 浩
50周年表彰自祝 井戸 幹雄
創立50周年功労表彰自祝 衣斐 孝雄
在籍30年自祝 南川 和茂

先日、新人歓迎会ありがとうございました。これ
からもよろしくお願い致します。吉村 圭太
入会祝、ありがとうございました 山本 邦人
本日の国旗掲揚台奉納記念例会を祝して

SAA一同

平成29年11月2日 合計金 115,000円
累計金 1,155,000円

☆☆創立50周年功労表彰☆☆

※特別功労表彰

ガバナー補佐 2009-10年度 重里 國麿
2016-17年度 郡 悦清

※永年功労表彰 (在籍30年以上会員)

川本 浩・福井 興・寺井 種伯
坂本 一民・高松 貞彦・井戸 幹雄
衣斐 孝雄・橋本 守之・重里 國麿
金田 五郎・南川 和茂

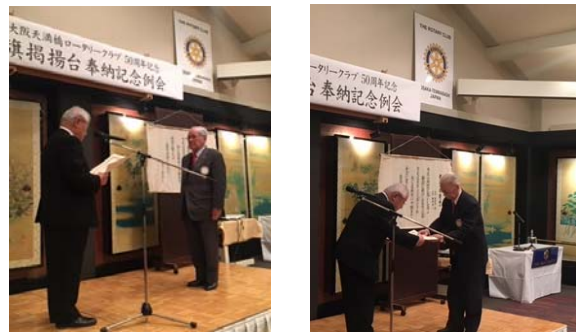
(以上敬称略)

大阪天満橋ロータリークラブ
国旗掲揚台奉納記念例会

11月2日(木)は50周年記念事業の共催事業として大阪天満宮にて国旗掲揚台奉納記念例会が開催されました。11時からの奉納式は厳かな雰囲気の本殿昇殿参拝から始まり50周年記念に寄贈された



国旗掲揚台と記念碑の前に整列した参加会員による国歌斉唱に併せて晴天のもと国旗の掲揚が執り行われました。



引き続き例年ヒルトン大阪で行われています記念写真撮影が国旗掲揚台をバックに行われました。12時30分から大阪天満宮会館にて記念例会が開催され、上記の方々に創立50周年功労表彰が授与されました。なお、当日は大阪天満宮文化研究所研究員の高島幸次様に「天満天神裏の笑いの風土」と題した講和して頂き、14時に無事記念例会を終えることができました。

二、一、
ロそ働み結心語笑 | ロそ手遠お見やど | それでこそロータリー
| れきんび心り顔 | | れをいつあこ |
ロで合な合で合笑 | ロで振時とけとで | 東京R.C. |
| こお世お お顔 | | こりに呼た言会 | 矢野 |
ロそうのう うで | ロそ合はぼ時おっ | 一 |
| よ為よ よ | | お うにうて | 野 |
タ | タ う やよも | 一 |
リ | リ よ | |
| | |

☆☆ 先週(11月2日)の記念講話 ☆☆

「天満天神裏の笑いの風土」

大阪天満宮文化研究所研究員

大阪大学招聘教授 高島 幸次 様

50周年記念事業実行委員会



大阪天満宮に伝わる数々の境内図のなかでも、明治20年(1887)「摂州天満宮社内之図」は特に興味深い地図です。通常の境内図は建物の配置を示すものですが、この「社内之図」は、建物のほかに参拝の人々や大道芸人たちを描いているのです。そして、このころに毎日のように境内で遊んでいた少年は、のちに講師の旭堂南陵(二代目)となり、晩年の講演で少年時代の天満宮境内の思い出を話すのですが、その内容は見事に「社内之図」の情報と一致するのです。例えば、戎門を入った正面には、歯痛止め薬を売る「長井兵助」の偽物が居合抜きで客を集め、本殿東側では、飴売りの夫婦が「シチャラカポコポコ、ナンダボコチャラチャ」と唄って境内一の群衆を集めているという具合です。なかでも注目されるのは、易者の宮崎八十八と、放生亀売りの原盛太郎国光です。八十八は八卦見で儲けた資金で演芸小屋「杉の木席」を買収、のちに「宮崎亭」と改称します。国光も亀売りの利益で浪花節の小屋「国光席」の席亭となります。彼らに共通するのは、面白い話術で人を引き付けてから販売をすることです。そして、その蓄えて演芸小屋を経営するのが夢でした。笑いの大道芸が天満天神裏の風土を形成していたのです。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

すっぽん玉地蒸し 百合根 銀杏 べっこう餡
鱈(ぶり)つみれ 蕪 人参 芹 灘仕立て
茄子 牛肉 蒟蒻 海老芋 胡麻味噌田楽
栗御飯 香の物
けんちん汁 牛蒡 人参 里芋 占地 大根 豆腐
さつま芋プリン
コーヒー

—No.3・4テーブル情報集会—



11月2日(木)17:30より第3及び第4テーブル情報集会が、中之島公会堂に面したイタリアンレストラン「sumile」にて開催されました。橋本会長の開会のご挨拶に始まり、川本会員の乾杯のご発声で、楽しい宴がスタートしました。洒落た前菜の後、サザエのパイ仕立て、牛ホホ肉とマッシュルームのリゾット、コブダイのムニエル、子牛のフィレ肉と美味しい料理を楽しみました。郡副会長は、ご挨拶の後、別の情報集会へのご出席のため退席されましたが、その後、出席会員に近況を含めてご挨拶いただきました。当日は、レストラン近辺の話に加え、大阪天満宮での創立50周年記念事業の後であったこともあり、創立50周年の話題が多く聞かれました。重鎮の先輩会員の多い中、緊張感も和らぎ、リラックスした雰囲気の中で時間が経過し、高田会長エレクトのご挨拶の後、中之島公会堂を背景に写真を撮り、散会となりました。

橋本会長、郡副会長、高田会長エレクト、川本、衣斐、重里、南川、金田、中村(健)、楯田、事務局 (敬称略)

ロータリアンのマナー

1. 品格あるロータリアンとして行動する。
2. 諸会合にはロータリーバッジを付ける。
3. 諸会議と諸事業の出欠は必ず速やかに返信する。変更があれば事務局に連絡する。
4. 諸会合には定刻前に出席する。
5. 諸会合で会務進行中は、私語・雑談を慎む。
6. メンバー同士の付き合いは相手の人格を損なわないよう敬意を示す。
7. 家族にロータリー情報を話す。

研修リーダー 南川 和茂